

緑の風 FAX版

NO. 89

2014年5月17日

JR東労組
本部情宣部



「戦争反対」の声 沖縄に響き渡る!

JR 総連青年協議会 「復帰42年5・15 平和行進ピースアクション2014」に参加!

5月16～18日、沖縄平和運動センターが主催する「復帰42年5・15 平和行進ピースアクション2014」が沖縄県名護市辺野古から出発しました。多くの市民団体や労働組合が結集する中、JR 総連青年協議会からも総勢45名で参加しています。

今年の平和行進の最大の課題は「辺野古新基地移設問題」であり、基地のない平和で安心して暮らせる社会を実現するために3コースにわかれ、沖縄戦の跡や米軍基地を抱える沖縄の現実を肌で感じています。5月15日は沖縄が本土復帰を果たした日ですが、これに合わせたかのように安倍首相は「武力行使を目的とした集団安全保障には参加しない。平和主義を守り抜く。しかし、これまでの憲法解釈で十分か検討が必要だ。」という集団的自衛権行使を容認した政府見解を示しました。参加者たちは、憲法解釈を変更し集団的自衛権行使を容認する方向へと舵をきった政府を許さず、労働者・市民にとっての平和を守り抜くことを確認しました。

18日には「5・15 平和と暮らしを守る県民集会」が開催されます。最後まで歩き抜き、沖縄から平和の尊さを学び危機感を持って平和の声を上げ続けていきます。

シュプレヒコールを上げながら糸満市内を行進する JR 総連青年協議会の参加者たち
～17日「沖縄タイムス」より～

未来を担う若者から平和を守る運動を創り出そう!